



いちかわみさと

議会だより

第32号

2013年8月1日発行



●確認!! 土砂災害避難訓練(六郷／五八・岩下・寺所)

平成25年
6月定例会

第2回臨時会

- 条例の制定・改正・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 一般会計補正予算・2病院の統合・・・・ 3
- 常任委員会報告・・・・・・・・・・・・・・ 4～5
- 6議員が一般質問・・・・・・・・・・・・・・ 6～11
- 組合議会報告・傍聴・・・・・・・・・・・・ 12～13
- 追跡・・・・・・・・・・・・・・ 14
- 審議結果・討論・・・・・・・・・・・・・・ 15
- みんなのページ・・・・・・・・・・・・・・ 16

条例の制定・改正

平成25年第2回定例会は、6月6日から18日までの13日間にわたり開催されました。今定例会では、平成25年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、条例制定・改正など22議案、および諮問1件が提案され、いずれも原案のとおり可決、適任と決定されました。

一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例制定

東日本大震災を契機として防災・減災に積極的に取り組む必要が生じたことで臨時的緊急の対応策として国・地方自治体の職員給与を削減し、被災地の復興及び地域の活性化に寄与するために条例制定。

町職員給与条例中改正

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行に伴う災害派遣手当について、新型インフルエンザに対応させるための改正。

町税条例改正

復興支援のための税制上の対応による地方税法等の一部改正に伴い、固定資産税等の措置について改正。

町都市計画税条例改正

地方税法等の一部改正に伴い、条項などを改正。

母子寮設置及び管理に関する条例廃止

昭和49年より利用されてきた母子寮は、現在では入居者もなく老朽化も著しい。この度、取り壊すため条例を廃止。

開院 2病院統合で事務組合発足

市川三郷町立、社会保険鰹沢の2病院の経営統合に向けた協議を進めている市川三郷、富士川町は4月1日、新病院「峡南医療センター」の開院準備に当たる一部事務組合を発足させた。本年度中に経営方針や医師の配置、会計処理方法などを示した経営計画を策定し26年4月からの開院を目指す。



市川三郷町立病院

この日の会議では、事務組合管理者の久保眞一市川三郷町長が、事務組合職員6人に辞令を手渡した。



鰹沢病院

管理者は、「統合問題は両町民から大きな注目を集めている、町民の不安を取り除き、期待を膨らませられるように、開院に向け準備を進めてほしい」とあいさつした。

事務局は市川三郷町役場に置き、事務組合職員は市川三郷町から3人、富士川町から3人の職員を出している。経営計画の策定に向け、医師配置や会計処理などについては、早期に細部の検討に入る。

平成25年度 一般会計補正予算

(万円未満は四捨五入)

収入支出の補正額は

補正額 2億4,009万円
総額 87億5,767万円

収入のおもな内訳は

地方交付税 460万円
国庫支出金 2,962万円
県支出金 1億1,616万円
諸収入 1億 681万円
町債(借入金) △1,710万円

おもな使いみち

総務費

峡南広域行政組合負担金追加
計算センター町村電算システム
負担金追加 4,036万円
コミュニティ助成事業補助金 194万円

民生費

医療費集計システム改修負担金 28万円
地域密着型介護老人福祉施設
整備費補助金 1億1,600万円

衛生費

峡南北部2病院統合事務組合
負担金追加 264万円
風疹ワクチン予防接種事業 258万円

民生費

母子寮解体工事費 2,032万円

農林水産業費

道林地区内道路改良工事設計委託料 600万円

土木費

岩間池田団地整備工事費 86万円
民間木造住宅耐震建替補助金追加 160万円

教育費

大塚小学校道徳教育推進校事業費 6万円
市川小学校グラウンド整備工事
設計管理委託料 263万円
六郷中学校部室棟改築工事費追加 303万円
スポーツフェスティバル補助金 10万円

新病院「峡南医療センター」来年4月

病院経営統合へ

組合議員5名を選出

本町議会は4月12日、臨時会を開き、一部事務組合の構成議員を指名推薦により選出した。構成議員は秋山詔樹、内田利明、小林一史、松野清貴、村松武人の5議員。両町合せて10名で構成。

また、4月22日、市川三郷町役場会議室で発足後初めての組合議会を開き、議長に本町の秋山詔樹議員、副議長に富士川町の斎藤正行議員を指名推薦により選出した。



市川三郷町立病院待合室

総務教育

開催日
6/10

問 1億1千600万円の県支出金を受け、昨年12月に地域密着型介護施設の条例化をし、公募しているが他の市町村の状況は。

志村財政課長 中央市で同類の予算計上しているが内容については不明。

問 障害者の雇用が少ない場合は、ペナルティはあるのか。

長澤総務課長 ペナルティはないが、採用数が7人と決っている。本年度採用を含め4名雇用、3名不足。

問 市川大門駅舎内乗車券の売上、及び今後の施策は。

長田政策推進室長 一日平均18万6千円の売上で、当初の予定より少し不足するが、今後全国規模に販売出来るようJRと協議する。

問 本庁舎、駐車場の暗い所を改善出来ないか。

総務課長 何らかの措置をとる。



六郷支所入口

問 六郷支所の工事内容は。

上野六郷支所長 県道沿いの石積み塀に芯が入ってなく、歩行者等に危険のため、撤去・組み直し工事である。

問 大同地区公民館の建設スケジュールは。

小林生涯学習課長 入札準備も整い計画どおり進んでいる。

問 市川南小学校のグラウンド工事、町内小中学校の窓ガラス飛散防止工事は、授業等に影響はないか。

一瀬教育総務課長 夏休み及び土日を活用し子ども達に支障がない形で進める。

大同地区公民館建設工事

平成25年6月12日に6社により一般競争入札を行った、大同地区公民館建設工事(本体)は、井口工業株式会社(甲府市)と請負契約を締結。

工 事：黒沢地内大同地区公民館建設工事

契約方法：一般競争入札による契約

契約金額：7,581万円(消費税込)

契約の相手：井口工業株式会社(甲府市)

設計価格：8,690万円

予定価格：8,250万円

完成予想図



安全祈願祭



常任委員会

厚生

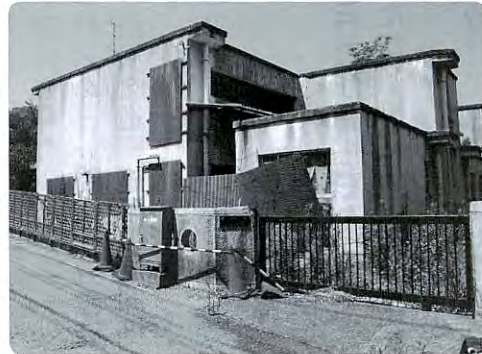
生

開催日
6/11

問 母子寮解体跡地は、どのように考えているか。
町長 土地は町名義で475坪の広さで、駐車場の整備・共同墓地・給食センター・平塩5号線に連がる道路の拡幅を検討している。

問 重度心身障害者医療費助成窓口無料化廃止にともない自動還付方式に変更されるが、町が立て替え、支払う独自の制度は作れないか。
青柳福祉支援課長 医療機関が混乱を招くので町独自の制度は考えていないが、国保限度額認定や、今後、県で行われる予定の貸付制度を利用し、受診してもらおう。

問 介護予防、生活支援事業の公募と応募状況は。
福祉支援課長 受付期間は、終了し、1件の応募があり、今月26日に審査を行う。



母子寮

問 風疹ワクチン予防接種助成事業は年度途中の計上であるが、開始期間はいつまでさかのぼるのか。
遠藤いきいき健康課長 4月1日以降の接種者も、助成の対象となる。

問 鰻沢病院の譲渡の時期と金額は。

町長 仮契約は7月頃予定している。金額は今現在、累積赤字は譲渡金額に含まれず、土地・建物・医療機器・老健施設も含め5億円前後で交渉中である。

土木環境

開催日
6/13

問 道林地内の農道改良工事が予定されているが、場所の説明を。
丹沢産業振興課長 甲斐上野駅東側の押出川左岸で、ふるさと会館北側に位置し、小字は一条林である。

問 道林地内工事は、当初予算に計上されていないが、今回に補正追加した理由は。
産業振興課長 かねてからの地区要望であり、用地の目安がついた。一部防災上の機能も兼ねるため、今秋に少しでも早く工事が出来るよう、設計委託料の補正を行った。

問 農地の太陽光発電施設の利用に対し、県・国からの指導はないか。

産業振興課長 農振農用地に施設はつくれないが、除外されている区域では、一時転用の措置をすることで設置可能である。



道林地内

問 農振地域でも荒廃地があるが、利用出来ないか。
産業振興課長 荒廃農地であっても現時点では不可能。

病院の統合経営は大丈夫か

一瀬 正 議員

—地域医療新体制計画を早く軌道に乗せる—

問 町立病院外来患者の4月から5月の利用数は減っていると思うが実績は。

町長 病院の診療体制の変更に、特に整形・リハビリ・外科に影響があり、整形診療をもう一日増やす交渉を行っている。

26年4月移行時には、しっかり体制を整えられるよう交渉・準備をしている。

問 活性化のため、各地域の特色を生かした政策は。

町長 優良農地を活用しての就農移住・豊かな自然環境の中での空き家バンク・農地バンク制度の活用を進める。廃屋も多く、県外・町外から移住者を求める施策を考えていく。

問 地域の住民と行政が話し合いの場を持ったか。

伊藤企画課長 本町に居住を希望する問い合わせもあるが、条件的に折り合いがつかない事もあり、今後地域と話し合う機会を作る。

問 被災者への市川三郷町に移住の働きかけは。

町長 避難者から相談を受けている。ボランティア支援団体と連携を取り、本町への定住を図りたい。

問 市川大門・落合通りの道路・水路の改修工事の実施時期は。

町長 多くの地区要望があり、順次施工している。当地区でも広域的調査を行い、出来るだけ早く整備を進めていく。

問 元氣臨時交付金の活用施策の展開は。

町長 国の緊急経済対策の追加で、2、881万8千円の交付限度額が示されている。

大同公民館建設事業費に充て、起債を減額し、過疎債で市川小のグラウンド改修を計画している。

問 暮らしの雇用相談窓口の設置の考えは。

町長 ハローワークと連携し、毎月求人情報を窓口で紹介し、技術訓練・受講案内を回覧している。

県が主体的に設置する、若者の就職支援をワンストップで行う※「ジョブカフェ」を毎年開催し、昨年は本庁舎にて3名が利用した。

問 何でも相談窓口等の看板を福祉支援課に掲示を。

町長 相談事も多様化しており、複数の課に関連する場合もあり検討していく。

※ジョブカフェ

若年者の能力向上・就職促進を目的に、職場体験や職業紹介等、雇用に関連したサービスを提供する支援施設。



改修予定の市川小学校グラウンド

3期目の決意は

内藤 優 議員

―不退転の決意で臨む―

問 峡南2病院統合事務組合の代表である管理者に就任しており、強い指導力を一層発揮し、北部地域医療再生のため、先頭に立って努力すべきではないか。

山梨県、山梨大学附属病院、両郡医師会、福祉医療関係の先生方など、大きな支援を得なければ、持続的・安定的に守る事は出来ない。

地方公営企業法全部適用による、峡南医療センター2病院の来年4月開院と新病院建設を計画どおりに遂行する事が、責任であると自覚している。

町長 医療施設に従事する医師数を人口10万人あたりで見ると、全国平均206・3人、山梨県平均192・6人、峡南地域108・1人と全国平均、山梨県平均の約50%と、大きく下回っている。

医師不足に起因する、地域医療の疲弊は、救急医療をはじめ、住民の命と健康を守る使命が大きく低下している。

問 歴史的な重要課題に取り組み、強い決意を持って3期へ臨んで頂きたい。

町長 極めて重大な局面を、不退転の決意を持って臨みたい。



答弁状況

問 18回にわたる地域医療を守る特別委員会で意見を述べ合い統合という結論に達した。地域によっては、いろいろな取り組みが行われた事を理解し、さらなる決意は。

町長 社会保険病院と、自治体病院を経営統合して、地域医療を再生する事は、全国的にも珍しいケースである。多くの困難があるが何とか乗り切って、新病院をスタートさせたい。周囲の支持、支援がなければ成り立たない。「信なくば立たず」をいつも肝に命じている。

「ピロリ菌抗体検査」を総合健診項目に!!

宮崎 博巳 議員

—経緯動向を見ながら今後検討—

問 胃がんや胃潰瘍の大きな原因といわれている※ピロリ菌検査を、総合健診項目とし、取り入れることができるか。

町長 各種がん検診は、健康増進法に基づく国の指針により、現状では、本町で実施している、胃部X線検査とされている。

胃がんのリスクを下げるためのピロリ菌検査は大変有効であり、除菌が保険適用になったことも承知しているが、抗体検査については、血液中のピロリ菌の抗体値を測定し、感染の有無を調べる検査で、胃がんを発見するものではない。

今後、検査機関の状況、国や県の動向を見ながら検討していく。

問 24年度の胃がん検診の受診者数は。

遠藤いきいき健康課長 総合健診での受診者、1、191名、人間ドックでの受診者、170名、受診率23・5パーセントである。

問 受診者中、バリウム検査・内視鏡検査の内訳は。

いきいき健康課長 基本的に総合健診はバリウム検査、人間ドックは内視鏡検査とされている。



胃がん検診



こどもたちにごん教育を

問 24年6月がん対策推進基本計画にがん教育の推進が盛り込まれた。学校教育の中でがん検診の重要性を教えることが必要と思うが、町内小・中学校での推進は。

丹澤教育委員長 24年2月、山梨県がん対策推進条例が公布され、4月1日より施行された。

がん対策を総合的かつ計画的に推進することを目的とするため、県から、各学校でがんに関する普及啓発に関する普及啓発学習活動に活用するよう、リーフレットやDVD、コラム等の

配布および、活用の推進例が示された。

町内の各学校の実施状況は、小学校では2校がコラムの活用をおこない、中学校は、全校がリーフレット等の配布や活用をおこなった。

今年度は2学期からがん教育の取り組みができるよう、8月に研修会をおこない、学校への理解を深め定着を目指す。

※ピロリ菌

胃の中に好んで住みつき、胃の壁を傷つける細菌。

六郷インター近くに『道の駅』の設置を

川崎 充朗 議員



―条件を満たす中で

可能か検討する―

問 中部横断道路、六郷インター入口付近に、道の駅を設置することで、就農、勤労意欲を高めると考えるが。

問 設置場所として、県道沿いの峡南橋近くに、空き地となっている町、県、国交省の所有地がある。借地として道の駅利用を考えるが。

問 規模が大きすぎて、県道では難しいとの事だが、地域の農産物の直売所としての機能を持つ販売所の設置は。

町長 24時間利用可能な一定数の駐車スペース、トイレ、電話、情報提供を備えた施設が登録の条件となっており、今後、さまざまな条件を満たした中で、登録が出来るのか、又、周辺に休憩機能を持つ施設の調査や、出店者、販売内容、利用状況も含め、関係者と検討する。

町長 1級河川区域内であり、災害備蓄場所となっていて、建築物としての利用は不可能と、報告を受けている。

丹沢産業振興課長 直売所も造っていききたいというところで計画しているところだが、それなりの大きさの建物で補助金を使って直売所を造るといふことになる、町内に2つ、3つというわけにはいかないと考えている。

町長 どのような内容なら出来るか、これなら出来るということ、調査し、検討していく。

問 山保農村広場では、レフト側の防護ネットが短く、ボールが畑に飛び込んだり、川に落ちたりして、見つけにくい。三珠農村広場は、下の駐車場や、広域農道までボールが落ち、拾うのに大変である。これらのネットの延長、補填の対応は。

町長 両施設とも、ネットの延長不足等による、ボールの飛び出しなどを防ぐ必要がある。今後、関係者と協議し、計画的な整備をしていく。



峡南橋近くの空き地

土砂災害危険地の点検は！

笠井 雄一 議員

—関係機関と連携を取り防災体制を強化する—

問 地すべり災害を未然に防ぐため、町や県では、どのような方法で観測し、防災に役立てているか。

町長 土砂災害法に基づき※土砂災害警戒区域の指定をしている。現在、※歪計16カ所、水位計を21カ所に設置し計測している。地すべり対策工事後、計測を終了している所もあるが、今後定期的に観測を県に要望するとともに、地域からの情報をいただき防災体制の強化に努めていく。

問 地すべり法定指定地は12カ所だが、既成は何カ所か。

河西建設課長 9カ所が、すでに終わっている。

問 既成になっても危険性は消えた訳ではない。指定地内の安全点検は必要ではないか。

町長 具体的な点検や対策など再度、県と協議していく。

問 現在、林野庁の地すべり指定になっている網倉地域では、一昨年、崩落が起きている。大きな崩落につながる前に、国交省の地すべり指定、または急傾斜地指定を受け対策工事ができないか。

建設課長 急傾斜地指定についても、現地を確認して県と協議していく。

問 町内の砂防指定地や河川の堆積土砂などの現地調査を行い、地すべりを防止するための施設を構築する必要があるか。

町長 災害対策を行い、人命を守ることは行政のなすべき重要な役割である。県と協議し早く実現できるように努めていく。



網倉地内 急傾斜地

※土砂災害警戒区域
急傾斜地の崩落が発生した場合に、住民の生命、身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域。
危険の周知、避難体制の整備が行われる。

※歪計(ひずみけい)
地下の岩盤の伸び・縮みを観測できる地殻変動の観測装置。

人口増加策に 住宅環境整備を

有泉 希 議員

―街並み環境整備に―

取り組む―



問 人口2万人を目標に、日本一の暮らしやすいまちづくりを目指して、子どもからお年寄りまでが安心して安全な暮らしやすいまちづくりの行政サービスが行われているが、人口は減少している。定住促進住宅整備事業、山王土地区画整備事業に取り組んでいるが、今後の人口増加策として住宅環境整備が必要だと考えるが町長の方針は。

町長 住宅環境整備の推進として、街並み環境整備事業を行っている。狭あい道路および接道不備敷地街区への道路整備により建て替えや新たな住宅地としての活用が可能となる。市川地区富士見団地整備におけるシルバーハウジング、山王地区宅地開発、山保地区定住促進住宅建設、六郷地区西河原宅地分譲など整備してきた。今後は、市川地区平塩5号線の道路改良を行い住宅建設の環境が整う。これら各施策を実施し、人口増加策に取り組んでいく。



西河原宅地分譲地

問 人口増加策として、桃林橋の住宅に関して、どのように活用する考えか。

町長 桃林橋の住宅は、優良地なので建て替えを含め検討している。住宅が整備されれば人口の社会増減を増やすチャンスでもある。継続的に政策を立て、住宅対策を行っていく。

問 若い人が住んでいただけるまちづくりには、長い目で見た計画と継続的なPRが必要だと考えるが。

町長 長い時間軸で継続していくことが重要だと考えている。



問 長いスパンでの計画による行政サービスは評価するが、任期満了に伴う町長選に臨む姿勢は。

町長 「信なくば立たず」という言葉を重く受けとめている。議会をはじめ、町民の多くの皆様の信任が感じられたので、継続して町政を担わせて頂けたらありがたい。

組合議会の報告

中巨摩地区広域事務組合

定例会 3月28日

提出された案件は、条例制定2件、改正2件、24年度補正予算5件、25年度当初予算6件の15議案が原案どおり可決・同意されました。

条例関係では、地方自治法の改正に伴い、委員の選任方法、技術管理者の資格の条例を制定するものです。また監査委員・職員給与条例に関する一部改正です。

24年度補正予算では、歳入は繰越金の追加、歳出は、財政調整基金積立金が主なものです。

25年度当初予算は、予算の総額は52・5%の増額で要因として、本年度から3カ年計画でごみ処理施設の基幹設備の改良工事費によるものです。
(報告 遠藤 浩)

平成25年度予算 中巨摩地区広域事務組合	
一般会計	3,559万円
ゴミ処理事業	20億8,682万円
地区公園事業	859万円
老人福祉事業	3,346万円
勤労青年センター事業	5,028万円
し尿処理事業(本町は対象外)	2億4,043万円
本町の負担金	9,136万円

峡南広域行政組合

第1回定例会 3月25日

専決処分の承認が1件、条例改正2件、24年度補正予算3件、25年度一般会計・特別会計3件の9議案は原案のとおり承認・可決されました。専決処分では、一般会計に、老人ホーム施設の暖房機器・消防ポンプ自動車の修繕費の計上です。

条例改正は、組合職員の旅費に関する改正で、日当の廃止を行うもの。ふるさと市町村圏基金の設置、管理及び処分に関する改正では、構成町の出資により積立てられた原資を、運営拡充、強化に充てる改正です。

補正予算では、執行状況による歳入の追加や、歳出における各種基金への積立て等を行うものです。
(報告 望月隆夫)

平成25年度予算 峡南広域行政組合	
一般会計	15億2,260万円
介護保険事業	2億3,346万円
峡南ふるさと市町村事業	2,598万円
本町の負担金	3億5,259万円

三郡衛生組合

第1回定例会 3月28日

25年度一般会計・特別会計予算3件、条例制定1件の4案件で原案どおり可決されました。し尿処理事業特別会計予算では、前年度貯留、中継、雑排水槽等の防食工事を行い4、148万円の減額予算です。

火葬事業特別会計では、前年度より、1、434万円の増額で主な要因は、火葬炉の長期修繕計画による炉の監視システムの更新です。

(報告 宮崎博巳)

平成25年度予算 三郡衛生組合	
一般会計	1,763万円
し尿処理事業	3億3,212万円
火葬事業	1億9,483万円
本町の負担金	6,172万円

峡南衛生組合

第1回定例会 3月22日

条例の制定1件、専決処分承認1件、24年度補正予算・25年度一般会計予算各1件ずつの4議案が原案どおり、承認・可決されました。

条例の制定は、一般廃棄物処理施設の技術管理者の資格に関するものです。

専決処分では、し尿処理施設内の故障で、コンピュータ制御システム等、更新工事費の追加を行うものです。

24年度補正予算は、財政調整基金の積立金に追加するものです。

25年度予算は、事務用車両の更新費等が主な要因で増額予算です。

(報告 内藤 優)

平成25年度予算 峡南衛生組合	
一般会計	4億2,252万円
内訳	
し尿処理事業	6,385万円
ゴミ処理事業	2億7,160万円
火葬事業	2,121万円
本町の負担金	5,659万円

峡南北部二病院統合事務組合

第1回臨時会 4月22日

提出された案件は、発議2件、承認3件、同意2件、議案1件でいずれも原案のとおり、可決・同意されました。

組合の設置に伴い、制定の必要がある条例17件、公務災害等、事務の委託に関する規約の専決処分の承認です。

同意では、監査委員の選任でした。

会計予算総額は7億9,672万円で、歳入は、両町の負担金1,526万円、県の補助金7億7,855万円、組合債290万円です。歳出では、ネットワーク構築設計業務336万円、経営・施設整備計画策定支援業務810万円、町立病院改修設計業務473万円、情報システム構築工事2億円、鰺沢病院取得費5億円、鰺沢病院のX線装置、医療機器整備6千万円等です。

(報告 松野清貴)



議会傍聴にお出かけください

次回定例会は9月に予定されています。

傍聴の定員

本会議 30人 委員会 各8人

◆6月定例会の傍聴実績(のべ人数)

本会議 14人 委員会 3人 臨時会 3人

◆会議録検索システム利用件数

1月から6月まで 2,683件

◆お問い合わせ

議会事務局 TEL055-272-1108

六郷インター周辺整備 (町道宮原一本松広場線)

町道宮原一本松広場線は、新宇野尾トンネルから町道岩間久那土線と平成28年度開通予定の中部横断自動車道・六郷インターを結ぶ路線です。

旧六郷町東部及び身延町北部住民の中部横断道アクセスを目的とし、山梨県が整備する主要地方道市川三郷身延線（六郷インターアクセス）と併せ、本路線の整備によりＪＲ身延線・甲斐岩間駅の利用促進などさらなる広域的な利用が図られます。近年過疎化が進んでいる周辺地域の定住化促進活性化など地域振興に貢献するとともに、災害時の避難地ならびに活動拠点となる防災拠点への緊急輸送道路や、地域間の連絡強化を図る交通網としての役割を担い、今後発生が心配されている大規模災害等に備える一面もあります。

町道工事の内容

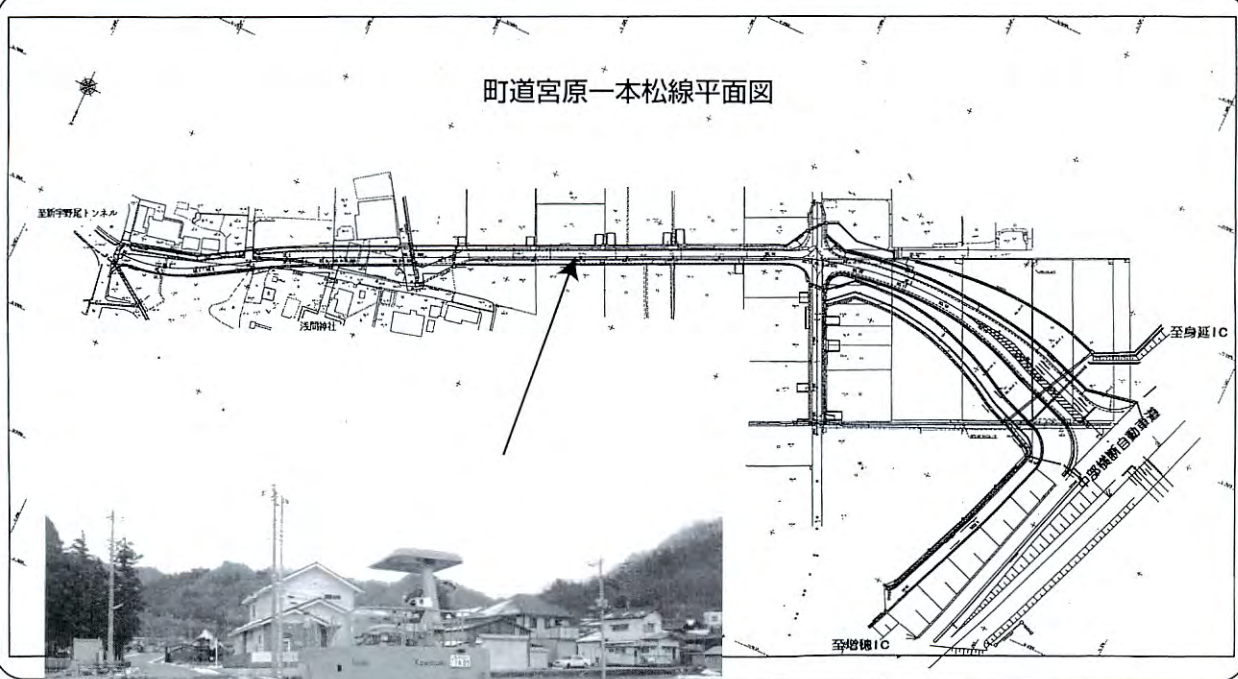
市川三郷町宮原地内

延長４２０ｍ、幅員５．５ｍ、３種４級（３０km/h）という規格の道路です。

〔総工費〕 ３億８，１１０万円

内工事費：２億１７０万円

町道宮原一本松線平面図



進められる道路舗装

討論

一般会計補正予算

(反対) 一瀬 正 議員

重度心身障害者医療費助成窓口無料化制度の廃止を求め、ペナルティを課すことは、自動還付方式でも負担増になる。窓口無料化廃止に伴う医療費集計システム改修負担金に対し反対する。

二つの病院を経営するには財政的に困難が生じる。町民への医療サービスの低下から、峡南北部2病院統合事務組合負担金に反対する。

(賛成) 遠藤 浩 議員
平成26年11月から、県独自の障害者制度を創設し、国から国保連に課

せられている。県と市町村合計18億のペナルティ増加を解消するため自動償還払制度を始める。今まで同様な町の対応を望み賛成する。

2病院統合は真剣に検討、議論し決断した。両病院の役割、連携を進め、勤務環境の改善等、魅力ある医療機関を創出することで、地域医療は充実していくものと考え賛成する。

(賛成15・反対1)

一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例制定

(反対) 一瀬 正 議員

地方公務員の給与は、自治体が独自に自主的に条例を作り、決定するのが原則。国が国家公務員の削減措

置に準じて、下げ幅を決め、実施を強制する前提で地方交付税を減額するのは原則を踏みにじるものである。また、公務員の給与削減は、民間労働者の賃金引き下げにもつながり、一層疲弊させるものでデフレ脱却に逆行するものと考え、反対する。

(賛成) 内藤 優 議員

職員の給与減額期間は、平成25年7月1日から26年3月31日までの特例期間とされ、東日本大震災の復興および地域の活性化に寄与するもので、職員組合も合意している。国家公務員給与との逆転が生じた場合には、条例改正を求めることで賛成する。

(賛成14・反対2)

人事

教育委員

齋木 智徳氏

市川三郷町市川大門

人権擁護委員

立川 亮子氏

市川三郷町高田

審議結果

◎第2回臨時会 (4月12日)

結果

- ・税条例中改正の専決処分 承認 全会一致
- ・都市計画税条例中改正の専決処分 承認 全会一致
- ・国民健康保険税条例中改正の専決処分 承認 全会一致
- ・平成24年度一般会計補正予算(第12号)の専決処分 承認 全会一致
- ・病院事業会計補正予算(第3号)の専決処分 承認 全会一致
- ・教育委員会委員の任命 同意 全会一致
- ・峡南北部二病院統合事務組合議会議員の選挙 決定 全会一致

◎第2回定例会 (6月6日～18日)

- ・税条例中改正 可決 全会一致
- ・都市計画税条例中改正 可決 全会一致
- ・母子寮設置及び管理に関する条例廃止 可決 全会一致
- ・峡南広域行政組合理約の変更 可決 全会一致
- ・平成25年度一般会計補正予算(第1号) 可決 賛成多数
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 可決 全会一致
- ・介護保険特別会計補正予算(第1号) 可決 全会一致
- ・訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第1号) 可決 全会一致
- ・簡易水道特別会計補正予算(第1号) 可決 全会一致
- ・公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 可決 全会一致
- ・歌舞伎文化公園管理特別会計補正予算(第1号) 可決 全会一致
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 可決 全会一致
- ・上水道事業会計補正予算(第1号) 可決 全会一致
- ・一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例制定 可決 賛成多数
- ・職員給与条例中改正 可決 全会一致
- ・一般会計補正予算(第2号) 可決 賛成多数
- ・国民健康保険特別会計補正予算(第2号) 可決 賛成多数
- ・介護保険特別会計補正予算(第2号) 可決 賛成多数
- ・訪問看護ステーション西八代特別会計補正予算(第2号) 可決 賛成多数
- ・簡易水道特別会計補正予算(第2号) 可決 賛成多数
- ・公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 可決 賛成多数
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 可決 賛成多数
- ・大同地区公民館建設工事(建築主体工事)請負契約の締結 可決 全会一致
- ・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求める 適任 全会一致

原稿を募集します。

みなさまのご意見をお寄せください。

400字詰め原稿用紙1枚以内、氏名(区名)・顔写真の掲載など詳細は、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ：議会事務局 TEL055-272-1108

みんなのページ



じどうかん学童クラブ

じどうかん学童クラブは、登録児童数が51名と町内で最も多い学童クラブです。市川大門町民会館の児童館と併設されているので、放課後は多くの子ども達が利用しています。

「ただいまー」子ども達は、毎日元気に学校から帰ってきます。生活の場所であるプレイルームや図書ルームでは、卓球をしたりボードゲーム・大型ブロックや工作などで遊びます。庭では、一輪車・ボール遊び・ホッピングで元気いっぱい体を動かして放課後の時間を過ごしています。

また、じどうかん学童クラブでは、子ども達が元気に楽しく仲良く育ち合っていけるように、地域の方や保護者の方の協力を得ながら様々な活動を行っています。

これからも、子ども達が仲間と一緒に遊び、共同生活を行うことで、思いやりのある心や、協調性・社会性を身に付けていってほしいと願っています。



編集後記

市川に和紙技術を伝えた「甚左衛門」の命日である7月20日に神明社で打ち上げられていた花火が、平成元年に復活し今年で25回目の神明の花火大会を迎える。

また今年は、第28回国民文化祭の事業の一つとして位置付けられ伝統文化の継承、活性化等に大いに期待される。

平成13年明石市花火大会時「群衆雪崩」が発生し死傷者260人を出す大惨事となった。無事故、無災害で終る事が大会の成功と言える。

群衆心理をうまく捕えた「DJポリス」を思い出す。

議会だよりも花火のように、より多くの町民の皆様に見て頂けるような紙面作りに努めます。

(記 市川)

議会広報編集特別委員会

委員長 笠井 雄一
副委員長 市川 朝嗣

委員 川崎 充朗
宮崎 博巳
有泉 希
遠藤 浩